



# 学校だより

1月号  
2018年1月9日  
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

## あけまして おめでとうございます

### 為すことによって学ぶ

～「体験」だけでは「経験」にはならない～

校長 井津井 公次

あけまして おめでとうございます。

日頃から保護者・地域の皆様より多大なるご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、年頭にあたり、「為すことによって学ぶ」ということを考えたいと思います。この言葉は、デューイ\*の有名な言葉で、「経験」の大切さを端的に表現しています。デューイの言う「経験」とは、「なにかをする」ということではなく、なにかをした「その行為」と「その結果」との関係を見いだすことにあるとしています。

ここで気を付けねばならないことは、「体験」＝「経験」ではないということです。「経験」は「体験」と「反省」がセットだということです。言い換えれば、「体験」から知識を紡ぎだして初めて「経験」になるということです。

デューイの考えは「問題解決学習」という学習法のベースとなっています。中村小学校でも、子どもたちの「経験」を重視した学習を積み重ねているところです。これからも、学習を通して得た子どもたちの思いや願いを大切に、それとともに、子どもたちへの保護者・地域の皆様からの思いや願いを子どもたちがしっかりと感じるようにしていきたいと思っております。

中村小学校の子どもたちは、保護者・地域の皆様から温かく見守られていることをしっかりと感じながら生活しています。心より感謝申し上げます。

今後とも保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

\*デューイ：ジョン・デューイ、アメリカの有名な教育学者